

編 輯 室 よ り

○少し遅くなつた憾がないでもないが、茲に北伊豆震災の特徴號をわくる。

○地震そのものに就ての結論は、もとより未だ之を知ることは出来ない。地震は哲學者流の言葉を借りて云へば、大地の本能なのだ。

×

○地震が大地の本能だとすれば、既に現代の科學を以てしては之に備へるべき何ものも發見出来ない。そこでいきほひ、如何にして此の本能の暴威から人類の生命とその財産を安全ならしめ、暴虐飽くことなきこの本能にいかによりよく對抗するかと云ふ問題が、われわれ工事技術者に課題される。

○地震がすでに所謂『大地の本能』であるからには、地震學者や地質學者の之に對する使命はいま之を問はない。それはあまりにも計り知りがたいXだからである。たゞ、地震學者が地震から我等を安全にして免れる以前、さよう、遙かに以前に於て、われら工事技術者は此の慘にんなる地震の手から人類の生命を安全ならしめねばならぬ。

×

○耐震構造、耐震構造、其處に我等は行かねばならぬ。百の橋を架し、千の家を建てた處で、一震にして之を破壊されたら、イクオールゼロだ。いやマイナスだ。

×

○今度の伊豆地震にはいはゆる忠臣孝子の出るやうなあべら屋でも、倒壊を免れた農家が澤山あつた。然しそれが若し、堅く造られた構造であつたら、倒壊は自然の趣く處であつたらうと齊田氏は云ふ。

○地震には剛を捨て柔を以て對せと云ふ、先年の眞嶋博士の説と、それは完全に符合する。

○要するに勝れたる耐震構造の實驗的理論を把握し時を移さずそれを各々の現場に實用することがわれ等の使命である。

×

○本號には、地震の記事や寫眞の外、朝鮮水電赴戰江大堰堤の記事及寫眞、横濱港の寫眞を載せた。何れも新年號に載せべくして載せ得なかつたもの、殊に赴戰江の堰堤はその混凝土工事に於て世界的のレコードを作つた萬國屈指の著名工事、幸ひ瀬戸氏の説

明に依つて、その概要を詳かに出来たことを喜ぶ。

同記事冒頭の五言は、瀬戸氏の述懐

○かれて豫告した高野山電鐵建設工事と、宮原氏の論文は、今月も載せ得なかつた。一言つけ加へて筆者並に讀者諸彦の諒恕を乞いたい。

廣井勇博士傳無代頒布に就て

回讀後は公共圖書館に寄贈保存の條件にて無代頒布を發表して以來第一回締切を一月十日とし、第一回の申込者には抽籤に依らず申込者全部に頒布する事となり一月十六日既に發送済となりました。

**土建工事畫報 第七卷 第二號
定價七十錢（稅二錢）**

毎月一回一日發行 一ヶ年十二冊發行

購 読 料

壹 部	七 十 錢	稅 二 錢
參ヶ月	貳 圓	稅 共
六ヶ月	四 圓	同
一ヶ年	八 圓	同

(外國ハ一部稅共七十八錢)

注 文は總て前金、送金に必ず振替貯金にて振替東京七〇貳六五番宛拂込の事、但し六ヶ月以上の申込は御希望により集金郵便による

昭和六年 一月廿六日印刷納本
昭和六年 二月一日發行

編輯兼印
刷發行人 岡崎保吉

東京府北豊島郡長崎町三六二九

印刷所 共同印刷株式會社
東京市小石川區久堅町百八番地

發行所 工事畫報社

東京市麹町區丸ノ内三丁目六番地
電話丸ノ内六二三三番
振替東京七〇貳六五番

廣告部 關西支局
大阪市西區北堀江通一丁目二五
電話新町三四六五

火賣捌所 東京堂・東海堂・大東館・北隆館

專賣特許 油 谷 式

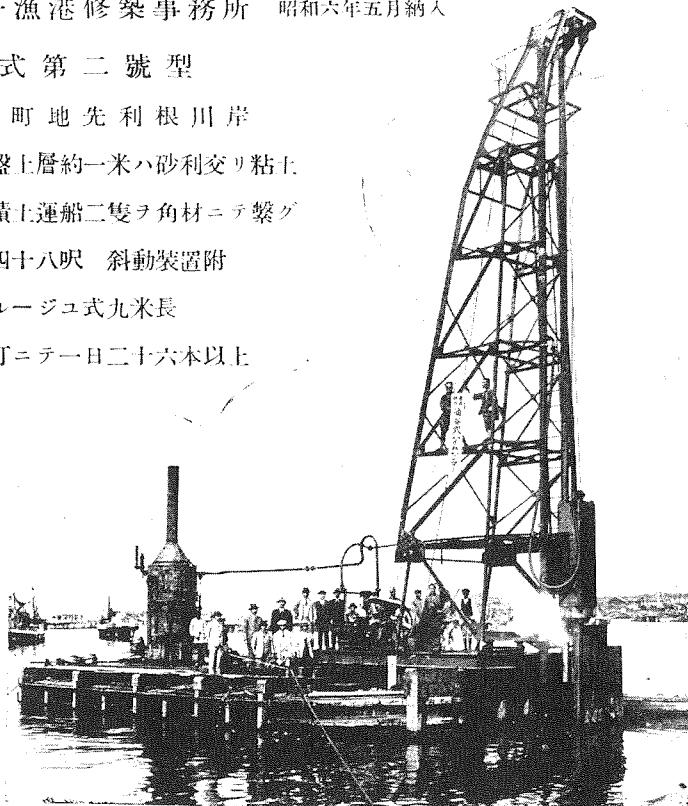
パイルハンマー、ドライバー

最近御採用先 銚子漁港修築事務所 昭和六年五月納入

油谷式第二號型

現 場 銚子町地先利根川岸
地 盤 土丹盤上層約一米ハ砂利交リ粘土
台 船 四坪積土運船二隻ヲ角材ニテ繋グ
櫓 總高四十八呎 斜動装置附
鋼 矢 板 テルルージュ式九米長
打 込 數 二本打ニテ一日二十六本以上

● ● ●
音 故 打
響 障 撃
僅 絶 強
少 無 大



土木建築用諸機械製作

株式会社 油谷工作所

總代理店

株式會社高田商會

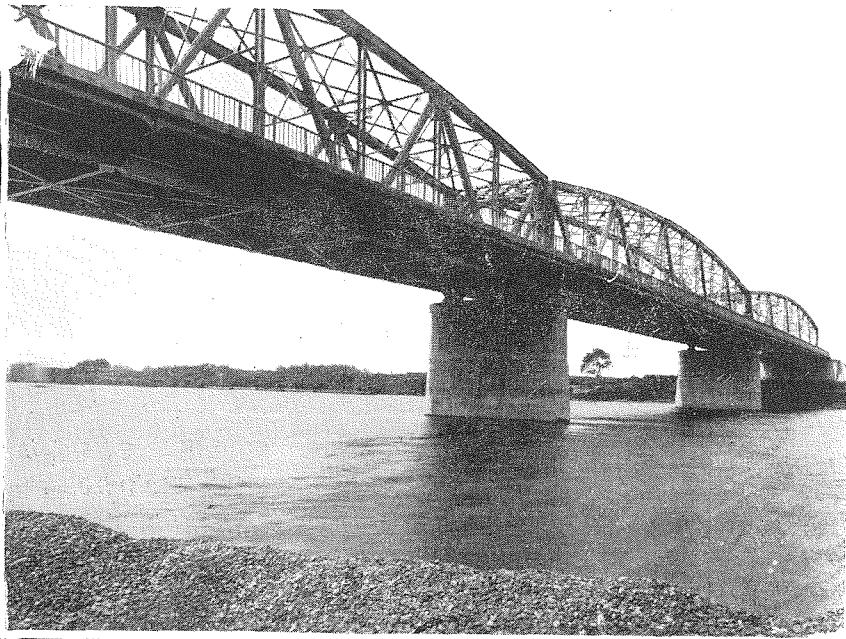
本店 東京市麹町區丸ノ内二丁目六番地
電話 丸ノ内 (23) 1321 (代表)

大阪支店 大阪市北區中之島二丁目二十番地
電話 本局 480 481

支店出張所

名古屋、門司、小樽、吳、神戶、横須賀、舞鶴
佐世保、臺北、大連、上海、倫敦、紐育、漢堡

横濱船渠の橋汎用



内務省東京土木出張所御註文

水府 橋

水戸市大字上市 那珂河

橋長 171米 幅員 11.02米

營業科目

鋼橋梁、鐵塔、鐵柱、鐵骨、鐵構、タンク類、電氣鎔接水道用瓦斯用鋼管、横濱 M, A, N ティーゼル機關、汽鑄、汽機、ポンプ其他諸機械類其他

横濱船渠株式會社



本社

横濱市中區長住町三番地

電話本局 1431 (代表)

東京出張所

東京市丸ノ内一ノ六、海上ビル新館

電話丸ノ内 4672 4625

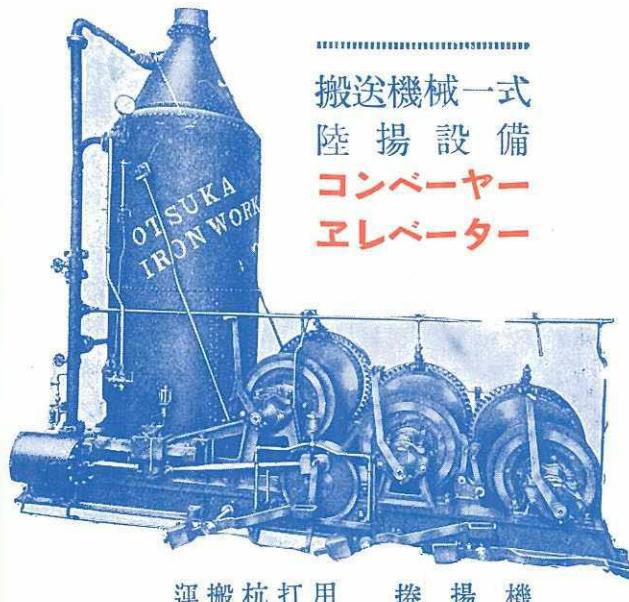
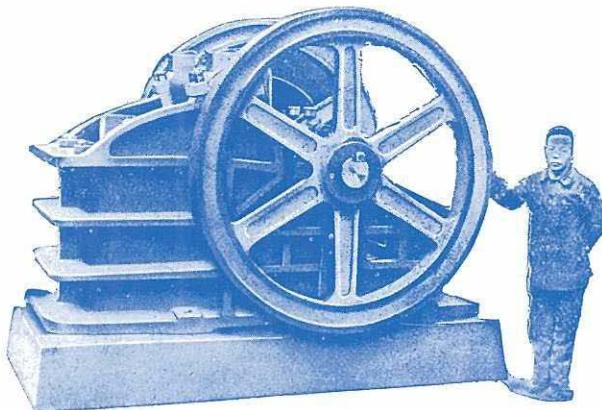
大阪出張所

大阪市北區宗是町一、大阪ビル

電話土佐堀 4393

土木建築用 機械一式

特許 チルド車輪各種
土木用運搬車各種



搬送機械一式
陸揚設備
コンベーヤー
エレベーター

ブレーキクラッシャー
碎石用トシテ最モ適ス

碎石機械各種
砂製造機械
混凝土ミクサー
排水ポンプ各種
コンプレッサー
起重機捲揚機
鐵桁、鐵柱類

株式會社
大塚工場

東京市芝區三田豊岡町六六

電話三田一一六二・一一六三



日立製作所

日立電動浚渫用ジブクレーン



(藁城縣三村耕拋整組合納)

容 量	23噸	捲揚用電動機	40馬力
揚程基面上	9呎	旋回用電動機	5馬力
ヶ 基面下	12呎	臺船ノ大サ	全長 45尺
半 徑	18呎	全巾	19尺
作業回數	50-60(每時)	全深	4.5尺

株式會社	日立製作所	東京市丸之内仲十五號館
		電話 (25) 代表二五九四一 二二五九四二 二二五九四三 二二五九四四 二二五九四五
電 丸 の 内		
(25)		
營業課		
大坂營業所	(本店) 大阪市北區ノ島二丁四 番地 (電話六一六五四五八〇一・四八〇二 三四八〇一・四八〇二・四八〇二)	營業所 (電話特種一三七五・一七七三)
九 營業所	福岡市博多片土居町四 番地 (電話特種一三七五・一七七三)	名古屋販賣部 (電話六一六〇目三 市中區新柳町)
大 販賣部	(電話本局四 五五五)	(電話本局四 五五五)
連 大連市	若狭町三 番地 (電話六一六三・九四)	(電話本局二二二〇四 西一)
販賣部	(電話本局二二二〇四 西一)	(電話本局二二二〇四 西一)
札 幌 販賣部	(電話本局二二二〇四 西一)	(電話本局二二二〇四 西一)
工 場	(電話本局二二二〇四 西一)	(電話本局二二二〇四 西一)
日 立 工 場	茨城縣助川驛	(電話本局二二二〇四 西一)
龜 戶 工 場	東京市外龜戶驛	
笠 戶 工 場	山口縣下松驛	
各 種 電 線	鐵管橋桿 鐵船用諸機械	變壓器 發電機 電動機 風扇 電氣計器 風機 水機 送風機 蒸汽機 起重機 電機 汽機 風機 電機 車輛
絶緣ワニス類	裸銅線	捲揚機 空氣壓縮機 電氣機關車 各種唧筒 電車用品 空氣收塵裝置 盤架器